

巻頭言

成功よりも成長をめざす
好奇心

同窓会会長
教育後援会会長

高橋 伸治
安光 利文

5 4

2023年度 学位記授与式

式辞

祝辞

祝辞

卒業生代表挨拶

2023年度卒業生からのメッセージ

とりあえずでもやってみる

少ない期間でどれだけ思い出を残すことができるか

すべてが学び

予想もしていなかった4年間

「挑戦」で得られたもの

学校法人千葉学園理事長
同窓会会長

国際教養学部卒

国際教養学部卒

国際教養学部卒

国際教養学部卒

国際教養学部卒

国際教養学部卒

国際教養学部卒

原科 幸彦
内田 茂男
高橋 伸治
川津 まどか

安本 琴音
小平 颯真
辻 凌馬
根本 紗実
小倉 実咲

14 13 10 7 6

2024年度 入学式

式辞

祝辞

祝辞

新入生代表挨拶

卒業生からのメッセージ(2024年度入学式祝辞)

自分でキャリアを決める時代、

自分らしいキャリアを見つけよう！

事務局組織としての新しい価値の創造へ

「2023年度なるほどなれっコンテスト」開催

YKK AP株式会社

代表取締役社長

魚 津 彰

32

37

41

ゼミ紹介

ビデオゲームを軸にした研究活動

文章生成AIの学術的利活用に向けて

体育会 少林寺拳法部

チャレンジ応援制度採択者

学生ベンチャー食堂「翔天」

小林 直人

商経学部准教授

政策情報学部3年

サード・創造学部4年

人間社会学部4年

天野 環斗
笹本 鈴
椎名 飛翔

44 43 42

45

CUCレポート

■ ニュース・イベント

個人・団体合わせて94件が学生表彰に輝く／ほか

成功よりも成長をめざす

高橋 伸治

● 同窓会会長
(昭52商)



今年は、学位記授与式および入学式が例年どおり、それぞれ挙行されました。ご家族の皆さまもひとつの場所で味わえる喜びを感じることができました。今年はバリエーションピックが開かれる輝かしい年です。卒業生、新入生の皆さん、ご家族の皆さまには、あらためて、「誠にありがとうございます」。

日本は災害国家です。何時何処で災害が起きるか誰にもわかりません。今年も能登半島大地震が始まってしまいました。被災された皆さまに心からご冥福とお見舞いを申し上げます。関係される卒業生、在校生の皆さんには同窓会としてできる限りのご協力をいたしたいと存じます。ご連絡をお待ちしています。これから先、力強く成長されますことを願っています。

私たち同窓会の理念は、「会員相互の交流と親睦を図り、組織および会員の発展・充実並びに建学の精神に則った千葉商科大学の発展に寄与すること」であります。創立50年の歴史を重ねた私たち同窓会は、この理念のもとに聴くことを前提にした密度の高いコミュニケーションを大切にして、これからも大学、教育後援会の皆さまと力

を合わせて、社会に旅立つ若者たちの支援と新たに本学で学ばれる学生たちの発展に邁進してまいります。

科学技術の大きいなる発展の時代に、千葉商科大学は学部・学科再編に挑戦し、大きく生まれ変わろうとしています。挑戦は、すべてが成功すればベストですが、そうならないこともあります。しかし、挑戦は間違いなく組織と人に成長をもたらします。たくさん挑戦をして大きく成長する千葉商科大学であると確信しています。

「同窓会自慢話を語る会」という川柳を先日、新聞で見ました。そのように見られないためにも新たな挑戦を繰り返して成功よりも成長できる私たち同窓会をめざしてまいります。また、世界はどんどん変化していきます。その新たな流れを的確につかみ、人を大切にする理念のもとに、これからの社会に対応できる私たち同窓会になれるように、大学および教育後援会の皆さま、今年の卒業生、日本各地にいる卒業生の皆さまとコミュニケーションしながら、頑張つてまいりますので、よろしく願いいたします。



千葉商科大学
同窓会
公式Webサイト
二次元コード

卒業生からのメッセージ（2024年度入学式卒業生代表祝辞より）

自分でキャリアを決める時代、自分らしいキャリアを見つけよう！

YKK AP株式会社 代表取締役社長

魚津彰（昭和60商）

こんにちは。新入生の皆さん、本日は誠におめでとうございます。そして保護者の皆さま、本日は誠におめでとうございます。このように盛大なご入学式の日を迎えられたこと、心からお喜び申し上げます。

さて、43年前、私は1人でこの入学式に出ました。当時はこの4年間、何を学習して何をするのか、そしてどこに就職するのか、将来について具体的な計画はありませんでした。

私は富山県黒部市宇奈月温泉出身で、小さいころからスキーをしており、剣道も3位になったことがあります。

入学が決まった時点で地元のスキー学校に入り、入学時にはスキー検定1級を取り、20歳のときに準指導員を取りたいと考えていました。

大学4年間で全日本スキー選手権大会、全日本スキー技術選手権大会に必ず出るということを目標に、アルパイトをたくさんいたしました。結果、大会に出場することができましたが、今社長になって思いますと、もっと勉強しておけばよかったと考えています。特に大切なのはマーケティングです。マーケティングを深く勉強すべきだったと。それと、代表取締役になりましたので、やは



り経営学をもっと勉強しておけばよかったと思っています。もう一つはYKK APはメーカーですので、原価計算ができるようになるべきだったと。この三つは今、反省している次第でございます。

今週月曜日の4月1日に黒部で入社式がありました。新入社員が357名、院卒・大卒・高専卒・短大卒が156名で、156名の約半数が女性でした。皆さんから見ればまだ4年後以降の話ですが、就職したときに会社の社長がどんな祝辞を言うか、参考程度に聞いていただければと思います。

私は三つお話しました。

一つは「明るく・元気よく・素直」であってください。そして「傾聴力」、人の話にしっかり耳を傾けることを大切にしてください。私は、聞き上手は言わせ上手だと考えています。

二つ目に話したのは、私は国内の営業畑一筋でしたが、営業のプロになりたいと思っていたわけではなくて、いつか事業に携わりたいと思っていたことです。そのためには営業の知識だけではなく製造の知識、商品開発・技術の知識、それと管理の知識が必要です。事業を語るためにそのような知識を自分で習得しながら、YKK AP

の持続的成長を実現するビジネスモデルを作ってきました。

三つ目に関しましては、入社された皆さんに、これらの自分のキャリアは自分で決めてくださいとお話ししました。会社はサポートいたしますが、一人ひとりのキャリアは決めません。皆さんがどのようなキャリアを積みたいのか、しっかりとシナリオを書き、そのときに必要なこと、足りないことは自分で勉強してください。そのための皆さんへのサポートについて会社は惜しみません、ということをお話ししました。

ここで少し、YKKグループの紹介をさせていただきます。まずYKKというのは、吉田工業株式会社という前会社名の英文「Yoshida Kogyo Kabushikikaisha」の頭文字をそれぞれとった名称です。ファスニング事業とAP（建材）事業を展開しております。そして、YKK APの「AP」は「Architectural Products」、建築用工業製品です。YKKグループ全体では世界72カ国／地域に進出しており、YKK APは12カ国／地域に進出しておりません。

YKKグループの2023年度連結売上高は9233億円（推定）になります。AP事業に関しては約5400

億円（推定）の事業、従業員数は1万7500人ほどです。国内の従業員の方が多数を占めております。2024年度計画は売上高で5779億円、営業利益で276億円となっています。

私が社長になるまでの経歴ですが、まず、38歳で支店長になりました。50歳で執行役員、58歳で取締役、59歳で取締役副社長、そして60歳で社長になりました。特に私が転機を迎えたのは2006年です。次期リーダーとして社内研修の第3期価値創造塾に選拔されました。

YKK APは当時アルミサッシメーカーでした。投資の回収も終わったということで、アルミを売れば売れば儲かるという時期に、あえて樹脂窓事業（窓事業）に舵を切りたいということを経営に提言しました。それが受け入れられて、窓事業の責任者として樹脂窓事業を推進してまいりました。

2013年当時、樹脂窓の販売は少なく、そのほとんどが北海道などの寒冷地でした。社員も寒冷地以外で樹脂窓は売れないと思っていましたが、それでもこれからは環境、省エネの時代。樹脂窓を使った高断熱住宅にすると、冷暖房費を削減することができます。また、結露の発生を抑えることにより、冬は暖かく健康的に過ごすこ

とができます。高断熱住宅に詳しい方々を社外より講師としてお招きし、プロユーザー向けのフォーラムを継続して開催するなど、さまざまな取り組みを推進し、現在では販売窓数(国内戸建住宅用)において樹脂窓の割合は約35%になりました。アルミ窓を樹脂窓に置き換えることをしたわけではなく、樹脂窓の市場を創造してきて大きく伸ばすことができました。

それと、副社長、海外担当のときに、北米で今までなかったような大きな投資をいたしました。米国の住宅用窓市場は日本の約7倍と言われています。事業のさらなる拡大のため、新工場の建設を決断し、2023年12月に工場が動き始めました。

続いてYKK APのCMをご覧ください。

AP企業CMでは猫を使っています。どうして猫なのかといいますと、猫は家の中で一番過ごしやすい、居心地のいいところにいます。それが窓辺です。こちらのCMは4カ月連続好感度ナンバー1となっています。ぜひご覧ください。

(映像上映)

いかがでしょうか。続きまして、これから公開する新しいCMを見ていただければと思います。

(映像上映)

CMを多くつくるのには理由があります。YKKグループは上場しておりません。皆さんも2年後以降には就職活動を始められると思いますが、そのとき最初に皆さんが考えるのは、東京証券取引所に上場している企業だと思っています。YKKグループは上場しておりませんが、そこには入っておりません。より多くの人に知ってもらうためにCMをたくさん作り、私もさまざまな取材を受けています。

2023年4月に、私はYKK APの社長に就任しました。これまで先輩方がやってきたことをしっかりと継承しながらも、YKK APという会社を次のステージへ持ち上げるのが私のミッションであると考えました。それがYKK APビジョン「Evolution 2030」です。次期リーダー約20名でプロジェクトをつくり、SDGsの最終年である2030年にYKK APがどのような会社になりたいのか、なるべきなのかを考えました。それが「Architectural Productsの進化で、世界のリーディングカンパニーへ」です。そして、売上に関しては現在の2倍にしよう、営業利益率も2倍にしよう。

なぜこのような高いターゲティングをするのかという

と会社を変えたいからです。これまでの延長で物事を考えたり、やり方をしたりしていれば、たぶん2倍にならないと思いますが、バックキャストイングで、これから会社を担う人たちがもう一度考えていって、これを実現していきたいと考えました。

そのための方針が三つあります。

まず、「地球環境への貢献」です。2040年にはカーボンニュートラルを実現したいということで、自社からのCO₂排出量について、スコープ1、2になりますが100%削減を目指します(2013年度比)。リサイクルに関しては、アルミの国内リサイクル率100%を2030年に達成したい。

続いて「新たな顧客価値の提供」です。これまでは商品価値を提供していましたが、これからは感動という価値を皆さんに届けたいということで、木製窓を発売しますし、これまでのように戸建て等の新築、ストック住宅の高断熱化だけではなくて、ビルのマンション、そして非住居と言われている商業ビル、学校、病院などの高断熱化に対応できる商品を開発していきます。

それと「社員幸福経営」。こちらに関しては、働きやすい職場環境の実現や、積極的な若手の登用と女性の活躍

推進、それと自律的キャリア形成を支援していきます。

パーパスは「Architectural Productsで社会を幸にする会社。」として、若手を中心となり作りました。

最後に、OBである私から皆さんへのメッセージを聞いてください。学生生活は、明るく、元氣よく、そして素直に楽しんでいただければと思います。それと、何事も好奇心を持って、さまざまなことにチャレンジしていただきたい。社会で活かせるような多くの経験をして下さい。

それと、まだ先のことですが、自分でキャリアを決める時代です。粗々でいいですし、途中で変更しても構わないと思いますが、自分らしいキャリアを見つけてください。

本日は誠にありがとうございます。

最大震度7・能登半島地震 を体感して…人と水への感謝

椿原 正洋

千葉商科大学同窓会 石川県支部長
昭和52年 商経学部経営学科卒業

まず始めに、令和6年能登半島地震の被災に対しまして、全国の皆さま、千葉商科大学および同窓会、関係各位のご厚情ご支援に感謝いたします。一歩ずつ前に向かって復旧・復興を進めてまいりたいと思っておりますので、今後ともご支援くださるようお願い申し上げます。

2024年1月1日の午後4時10分。突然襲いかかった大地震で、町が崩壊しました。本来なら、元旦を神社などで参拝し、令和6年の家族の幸せ、健康、学業成就などのお願いを済ませ、家族団欒のひとつきのはずが、一瞬の出来事で生活が崩壊し、家族と離別された方も多数お

られましたし、1階が倒壊し、家族に助けられ命拾いされた方もおられました。ちなみに、全半壊家屋が14290件となります。(調査件数26878件/53%)

私事ですが、幸いにして無事であり命の尊さを実感し、生きていることのありがたさに感謝しております。発災前に地元の神社に参拝し、辰年が昇り龍のごとく景気が上向き世の中が潤うことや家族の健康をお祈りし、近所のお宅に年賀の挨拶を済ませ、自宅で年賀状の整理をしていたときに大地震に遭い、家の中の物が舞い上がるほど下から突き上げられ、横に動かされ、立っていられな





出張輪島朝市を金沢市金石で開催



袖ヶ浜海水浴場の隆起とトンネル崩壊

いほどの揺れが60秒ほど続き、このまま押しつぶされるのではないかとこの恐怖心が沸き上がり震えが止まりませんでした。

そして間髪おかず、津波警報が発令されたので、着の身着のままで隣のお婆さんを連れて高台に避難しました。

避難先が航空自衛隊輪島分屯基地であったため、とても親切に対応をしていただきました。その後、近くの中学校の体育館に避難しましたが、やけに西の空が明るいと思っていたら朝市通りで大火災が発生し、水道管破裂により消火活動もできない状況で、240棟近くが焼失し、

1000年の歴史がある輪島朝市が壊滅しました。

中学校の体育館は窓ガラスが割れており、とても寒くて眠ることもできず、夫婦でひとつの毛布にくるまって一晩過ごしました。

一時は、寒さに耐えきれず、このままだと風邪をひき肺炎を引き起こしそうな最悪な状態でしたので、やむなく翌日の早朝に自宅に帰りました。電気・上下水道・情報設備が不通であり、あちこちに散乱した物が飛び

散り、ガラスが割れ、タンスが倒れ、ドアが開かないなど、どこから手を付けてよいのかわからないほどの被害状況でしたが、それでも私の被害は軽度でありました。

このような中、一瞬にして生命財産を奪われた方が100人以上おられ、自宅崩壊は14000件以上もありました。命の尊さを感じたところであり、お亡くなりになられた皆さま方に改めましてご冥福をお祈りいたします。

さて、石川県支部の同窓会活動について少しお話しさせていただきますが、前支部長の急逝により、数年前に引継ぎさせていただきました。この間4年続いた新型コロナウイルス感染症がやっと終息し、組織の再結成・再活動を模索している最中、今度は大地震に見舞われ活動に苦慮しております。

2028年の千葉商科大学創立100周年に向けて、さらなる絆を深め、在学生の活躍や同窓会が会員交流を図り、大学発展に深く寄与すべく微力ではありますが、感謝の気持ちを忘れずに、お手伝いをさせていただきたいと思っております。

大地震を体感して思ったことですが、場所や季節に

よって違いはありますが、発災初日は、寒さ対策、水、食料、通信、懐中電灯が最低限必要です（できれば防災セット）。2〜3日目からは自衛隊、消防、警察、医療関係者などの支援があり、食料や飲料水が補充できますが、唯一、水道管破裂によりトイレや風呂・洗濯が数カ月間に亘り利用できません。「備えあれば憂いなし」の故事のとおり、前もっての準備と避難経路の確認や確保が必要です。

そして地震発生時は、自助⇨共助⇨公助の順でしか進められませんので、まずは自力（自助）とお隣さん（共助）と助け合い、そののちに行政（公助）からの支援があります。道路の遮断があり、役場職員も最初からは動けませんが、まずは自力で努力する覚悟が必要です。

最後になりますが、全国の皆さん、自衛隊、消防、警察関係および全国の自治体や医療関係者、復旧工事関係者やボランティアの皆さん、関係各位のご支援に対し深く感謝申し上げますとともに、前に向かって進みますので、今後の復旧・復興にさらなるご支援を賜りたくお願い申し上げます。